

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ－１－（１）－① 理念が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（１）－② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本理念『一人ひとりの子どもたちが、のびのびと健やかに育つことを願う』『子どもと保護者が安心して信頼して生活できるよう、全職員が豊かな愛情を持って保育の質の向上に努めるとともに、保護者・地域との綿密な連携を図り、1人ひとりの乳幼児にとっての、最適な保育環境を整えていくことを基盤とした教育・保育を営んでいく』が明文化され、理念を踏まえ、園目標を『彩色彩光：子どもも保護者も保育教諭も一人一人が自分の持つ色を輝かせ、そして、それぞれの色と色が、幾重にも重なり合って放たれる色の面白さ、彩りの美しさに心躍らされ暮らしを織りなしていく』として、基本方針『「いのちを大切に慈しむ子」「(ありがとう)想いが寛がる子」「おはなしを紡ぎ創る子」「友だちと楽しく遊び繋がる子」「いろいろなことに心躍らせ挑む子」という保育目標を掲げて、乳幼児の発達に必要な教育・保育を提供します。』が明文化されており、子どもだけでなく、保護者支援や地域の子育て支援も含め、当園の目指す方向性や考え方が読み取れる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ－１－（２） 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ－１－（２）－① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（２）－② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、理念、基本方針、保育目標を資料として明文化し、職員に配布している。年度当初の職員会議等の機会を捉えて説明する等して、園の理念や方向性を明確にし、職員のチームとしての意識を高めている。</p> <p>利用者周知については、「重要事項説明書」に保育方針等を記載して、保護者に説明したり、保護者会や保育参観等の機会を捉えて説明している。また、冊子や通信を配布する等して周知を図っている。</p>		

<p>改善できる点/改善方法： 今後とも、ホームページの内容を充実させ、発信力を高める等、広く周知に向けた取り組みに期待したい。</p>

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	A・ Ⓐ ・C
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 女性の社会進出に伴い、キャリアパスを明確にしつつ、ワークライフバランスに配慮した働き方への変革を求められつつあり、中期的には、未満児ニーズの増加があり、長期的には、少子高齢化の進行する中で、合計特殊出生数の回復がままならず、保育所の選択の時代が到来するとの予測の下、中・長期ビジョン、経営の基本方針や基本姿勢を明確にした中・長期計画を策定している。 事業計画の策定は、中・長期計画に基づき、今年度は、幼保連携型認定こども園として、事業経営の基本方針や基本姿勢を明確にし、経営状況を分析して保育・児童福祉制度動向や変化する地域のニーズを把握し、事業計画が策定されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 今後、中・長期計画の策定にあたっては、事業計画と同様に、収支計画とセットで策定する方向で検討されたい。</p>	
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ ・B・C
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ ・B・C
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 計画は、前年度の反省を踏まえ、役割担当者が中心となって、職員会議で検討され、職員参画のもと、策定されている。計画の職員周知については、事業計画を職員会議で配布し、説明して周知を図っている。保護者には、年度当初に計画について資料を配布し、説明を行ったり、保護者会や保育参観等の機会を捉えて、周知を促している。また、保育内容や活動について、毎週、学級通信で周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点： 園長は、自らの役割と責任を運営機構図において明確にしており、朝礼や職員会議等で役割や責任について説明している。 法令等の理解については、関係法令等の研修会の参加等を通じて積極的に遵守法令の情報を収集し、園内研修等で周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 児童福祉制度の改変期にあり、常に最新の法令知識が職員に求められる昨今、園長に就任して一年目であり、今後とも、保育園運営に関する関係法令について、研修受講等、さらなる研さんに努め、職員周知に努められたい。</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園長は、職員の質の向上に意欲を持ち、保育の資の向上を図るべく取り組んでいる。また、運営上の課題を明確化し、改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。また、園長、副園長で、経営と現場の運営との役割分担を明確にし、経営体質の強化と保育の質の向上に努めている。 経営や業務の効率化と改善については、経費節約や効率的かつ有効な予算の使い方等を工夫している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 経営状況の把握

Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ－１－（１）－① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－１－（１）－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－１－（１）－③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体動向については、各種研修等の受講、各種専門誌から情報収集等で把握し、職員周知に努めている。また、地域の特徴や変化については、地域団体との連携、園庭開放や子育て支援活動等からニーズの把握に努めている。</p> <p>把握したニーズについては職員会議で課題分析を行い、次の計画につなげていくよう取り組んでいる。園の経営管理については、公認会計士事務所の助言・指導の下、経営状況を分析し、事務の効率化や消耗品や光熱水費等の節約の工夫をする等、コスト意識を高めた取り組みをしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中・長期計画に「職員の採用・長期雇用に力を入れる」と謳っており、人材の確保と育成についての姿勢が明記されている。人材については、保育士・幼稚園教諭に加え、特別支援学校経験者、養護教諭資格を持つ職員も配置し、特色を持たせている。また、職員の経験や年齢構成にバランスの取れた配置に配慮した採用活動を行っている。</p> <p>人事考課基準が整備され、客観的な基準に基づいて評価がなされている。職員の目標管理、自己評価と連動した人事考課が実施されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		

	<p>Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 中・長期計画に「働きやすい環境づくりがより良い保育を生み出すと考えるので、職員を取り巻く労働環境の改善に取り組みたい」と明記されており、職員の就業状況や有給休暇の取得状況について定期的にチェックしている。リフレッシュ休暇を積極的に取りやすいように努める等、ワーク・ライフバランスに配慮した体制整備に取り組んでいる。 職員の健康維持については、メンタルヘルスチェックや健康診断を実施するとともに、インフルエンザ予防接種の補助を実施し、健康管理に努めている。職員の悩み等については、副園長が中心に、毎月の懇談等を通して相談を受けている。職員の福利厚生については、共済会に加入し、親睦会事業の実施等、福利厚生の充実に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
	<p>Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 中・長期計画で示された長期雇用の基本姿勢を念頭に、職員の将来像やキャリアパスを示した職員の教育研修に力を入れており、目標管理の中で個別に意向を把握し、研修年間計画が策定され、その中で、新採職員研修、OJT研修、職種別研修、テーマ別研修、経験年数に応じた研修等、様々な外部研修への参加や、各種の園内研修、交流保育等が実施されている。当園の特徴的な取り組みとしては、著名な外部講師を招いて、エピソード研修を継続的に実施している。 参加した研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員に周知を行い、次の研修へ反映させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生の受入れについて、実習受入れマニュアルを整備し、実習指導者を決めて、各種養成校から実習生を積極的に受入れている。受入れにあたっては、オリエンテーションを実施し、実習時のカンファレンスや実習報告書を分析し、次年度の受入れに反映させている。また、エピソード記述の読み解き、幼児理解を深められるよう助言・指導している。実習生は、保育士のみならず例えば、視能訓練士の受入れも行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種対応マニュアル（防犯、不審者対応、給食、アレルギー対応、環境衛生、感染症対策、健康管理、安全管理、プール管理、事故、遊具点検等）を作成し、全職員に職員会議での読み合わせ等を通じて周知徹底している。各種訓練や講習（防犯・不審者対応、救急救命講習等）を実施するとともに、養護教諭や看護師を職員として配置し、自己・感染症予防対策として、保健安全指導を定期的に行っている。</p> <p>災害時における子どもの安全確保について、防災マニュアルを整備し、防災訓練を実施している。安否確認や緊急連絡は緊急メール配信にて行っている。</p> <p>安全点検を毎月実施するとともに、ヒヤリハット事例を収集し、職員会議等で分析を行い、全職員に周知し、安全確保のための意識を高めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点：

地域との関係では、「地域に愛されるこども園」を目指し、地域の灯籠祭り、市民運動会や文化祭等、地域の行事に参加し、公民館で実施される行事に保育士が出向いて就園児親子との交流を図っている。また、地域の民生委員、児童委員等との交流を行っている。小中高生の保育体験の受け入れやゲートボール愛好会等、お年寄りとの交流会にも参加している。

事業所機能の地域還元については、園庭開放、図書室の開放、子育て相談、特別な支援を必要とする子どもや家族からの相談、子育てサークルとの交流、一時保育等を実施している。

フットサルチームの来園、英語でのふれあい遊びボランティア等、積極的にボランティアを受け入れしている。また、地域の農家の方々とともに、田植え、稲刈り、スイカ栽培等の農業体験をしている。

改善できる点/改善方法：

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点：

自治会連合会、小学校、医療機関、子ども相談センター、発達相談センター、民生委員、保健センター、老人会、農協等、関係機関や関係団体と連携している。また、幼・保・小連携協議会で会議を持ち、情報交流を行っている。関係機関や関係団体の社会資源について職員会議等で確認し、情報を共有している。

改善できる点/改善方法：

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価結果
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・B・C
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点：

関係機関との連携や、園庭開放、地域住民に対する子育て相談に応じ、具体的な子育てのニーズを把握している。

把握した地域のニーズに応じて、園庭開放、図書室の開放、子育て相談、特別な支援を必要とする子どもや家族からの相談、子育てサークルとの交流、地域の摩周園児との交流、一時保育等を積極的に行っている。園の見学についてはいつでも対応できるよう体制づくりをしている。

改善できる点/改善方法：

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育課程の園の役割の中で、「子どもが様々な人と出会い、関わり、心を通わせながら成長していくために、乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かに作りあげ、その健全な心身の発達を図る。」「子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を整備し、自己を十分に発揮し自己肯定感を高め、仲間と共同の生活をつくりあげていくことにより、豊かな人格の形成を図る。」等が明記されており、子どもの人権を尊重する保育に重点を置き、日々実践に努めるとともに、職員会議や研修等で全職員の意識向上に取り組んでいる。</p> <p>子ども・保護者のプライバシー保護マニュアルを整備し、例えばプールに遮光ネットをプライバシー保護に配慮した保育実践に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保護者の保育参加の機会を多く設け、登園から昼食までの生活を保護者にも共有してもらいながら、保護者の意向把握に努めるとともに、合わせてアンケートを実施する等して、保護者の満足度を把握し、保護者の意見や要望を職員会議で分析し、今後の保育の質の上昇に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>連絡ノートを未満児だけでなく、全員に作成し、保護者の意見を受け止めるべく努めている。また、登降園の際には、保護者に積極的な声かけに心がけ、意見を述べやすい雰囲気づくりに努めている。</p> <p>苦情解決担当者、責任者、第三者委員を設置し、苦情解決の仕組みの体制を整備している。「こころとてをつなぐポスト」を設置し、意見を汲み上げている。意見や要望に対しては迅速に対応し、報告書を作成して職員会議で全職員に周知し、次への改善につなげている。苦情解決の流れのポスターを掲示する等、保護者に周知を促している。</p> <p>保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速な対応に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービスの質の向上に向けた取り組みとして、記述式を取り入れた園独自の自己評価表を作成し、定期的に自己評価を実施し、改善策を各種会議や職員全体会議で検討して見直しを行う等の一連のPDCAサイクルの継続により保育サービスの質の向上を図っている。また、定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法については、各種マニュアルの中で、標準的な実施方法が文書化されている。保育計画については保育課程に基づき、年間指導計画、月案、週案、日案を作成し実践を行っている。</p> <p>各種職員会議において計画の課題分析を行い、改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、日々の子どもの姿の記録を丁寧に綴り、週案時に検討し、子ども一人ひとりの育ちを職員間で共通理解している。</p> <p>記録の管理体制については、個人情報保護規程が整備されており、職員会議や園内研修において全職員に周知徹底を図っている。個人記録簿は鍵のかかる書庫に保管する等、厳重に管理している。</p> <p>一人ひとりの子どもの状況について話し合うために、定期的にケース会議を実施し、会議の内容は職員会議において全職員で共有できるようにしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A・ Ⓐ ・C
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>重要事項説明書や市のホームページで、サービス情報（保育理念、保育方針、保育目標、保育内容等）について理解しやすいようにわかりやすく情報発信している。いつでも園見学の希望者に対応し、案内資料を渡して丁寧に説明している。また、入園時には、重要事項説明書等の資料を用いて丁寧に説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>今後、独自ホームページを充実させる等、園の内容についてわかりやすい情報発信に向けた取り組みに期待したい。</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>引継ぎ文書を作成し、保育の継続性に配慮した対応を行っている。必要に応じて、他の保育園や幼稚園の情報もできる限り提供している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アセスメントについては、統一様式で定められた手順に従ってアセスメントを行っている。入所時に児童票や健康調査書等で、保護者や子どもの生活状況を正確に把握している。家庭状況に変更事項が生じた場合は、所定の手順に従い、速やかに訂正している。子ども一人ひとりの発達や個性に応じた保育を実践するために、懇談会や日頃の保護者への聞き取り等で保育ニーズを把握し、課題を明確にしている。</p>		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づき、子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づいて、一人ひとりの子どもの発達状況に即した指導計画を作成している。また、週案の作成時に検討し、評価、見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		